

季節風

北海道医報購読料年間3,000円。北海道医師
会員にあっては会費の中に含まれています。

看護大学雑感 =特異点singularity革命から=

情報広報部 山本 直也

昨年度の全国の看護師資格試験で看護大学卒者が1割を超えたことがメディアファクス等で報じられていたが、道内においても同様である。北見日赤の100名(本年すでに2期生卒業)、札幌医大50名、旭医60名、天使80名、医療大学90名、北大80名(本年度から)の合計460名で看3:1,405名、看2:430名、准看:721名を合わせた全看護師3,016名のうち約12%が大卒者となっている。

★ ★ ★

「シンギュラリティ」というあまり耳慣れない言葉を最初に使ったのは1933年に学術論文の中でSF作家のヴァーナー・ヴィンジであった。複数の技術革新が同時に実現することによって、社会が大きく変化する多面的・相乗的飛躍—特異点—の実現する一定の時期を指す言葉として用い、科学・技術・経済・社会の大変革が世界を全く新しいものに変えてしまう。単なる技術革命や情報革命とは違い、強烈さは産業革命に匹敵し、加速度はそれ以上に大きく、この革命は世界のリアリティそのものを一新し、従来型の直線的未来予測は

おそらく悉く外れる。未知の発見や新たな科学原理の出現による不連続性の発生・展開によって世界が劇的に変化することが現実性ある近未来であることを示した。分子ナノテクノロジー・宇宙工学の研究者J.C. ベネットが現在からの20年間でこのシンギュラリティー時代に相当するであろうと、差し迫った五つの革命を提示している。新世代の宇宙開発、バイオテクノロジーと大幅な寿命延長、分子加工(分子ナノテクノロジー、カーボン・ナノチューブラ)、非生物起源石油・エネルギーの商業利用、強大コンピューター統合生産らの先進情報工学である。なかでもバイオテクノロジーと寿命延長は、ES細胞・テロメア・ゲノム・クローンらの知識・手段が老化や癌への制御・克服という不死への挑戦と高齢出産をより延長安全なものとし、知的で高学歴で向上心のある大量の女性たちを社会に輩出させ、ストラウスとハウの言う85歳までの元気に働く老年が当たり前の新時代を現出する。豊かさや安全な超先進国のみが享受しうる少産・少死の理想の少子高齢社会(藤正ら)を実現し、個人中心の社会に移行しつつあるわが国において性別・年齢による差別などは前時代的遺物であろう。

★ ★ ★

ポスト工業社会・知価社会と言われる質の高い高等教育が国家の運命を握る新時代において、かつ女性労働力と高齢者の活力が必須の条件下において、残念ながら日本の女性高等教育は大卒が30%と米国52%、独47%のライバル国に大きく後れをとっている。まして薬学6年、医学は実質8年に高度に変貌しつつある中で看護大学は必然であろう。准看制度は日医総研報告書の如く中途職転換装置、勤労就学資格制度として実用的・質的変換を遂げて行くべきであろう。